

2019年3月吉日

有機栽培茶製造試験のお願い

「是非、一緒にやりませんか？」

茶新需要検討委員会 会長
大妻女子大学「お茶大学」校長
大森 正司

拝啓

和食が世界無形文化遺産となり、これに伴って日本茶の国際的認知度も増して、特に抹茶はMATCHAとして、そしてうま味もUMAMIとして英語表記されるようになりました。しかし、国内緑茶生産量は漸減して近年は8万tそこそこまで落ち込んできました。半面、世界的には毎年10万t以上の生産量の増加となって示されています。

これらは一体何に起因するのでしょうか。一つには生活スタイルの変容に伴う核家族化の進行、また、食の欧風化に伴うごはん食の減少が、大きい要因と考えられます。更に、欧米各国では茶の栽培製造が行われていないところから、茶に関係する農薬の使用基準が、他の作物に比べて非常に厳しく、このままでは日本茶の輸出は不可能な状態となっています。

この素晴らしい日本茶を世界に広めるには、有機栽培において輸出対応グレードの茶栽培を行う事、そして何より日本茶のうま味を保持したままの茶に仕上げる事が不可欠の事と考えられます。今回はこれらの点を改善することから始めるための試験研究を実施することにあります。この度、埼玉県茶業研究所のご協力を得、また、農林水産省からも支援を頂き、実施することとなりました。

是非、日本茶について熱い想いを抱いていらっしゃるお茶好きの方、日本茶インストラクター、茶育指導士、ティーインストラクター等の諸姉諸兄、また、これらの資格以外の方でも、日本茶の明日を見据えて想いを共有できます方々のご協力を、是非ともお願い申し上げます。

まずは埼玉県茶業研究所に「試験圃場」を設定いたしました。当該研究所の専門研究員のご指導を仰ぎながら、茶の栽培・製造試験を行いたいと思います。本試験研究は有機栽培茶製造ということで、従来の慣行栽培よりも、かなり人的労力を要することと存じます。

つきましては3月～10月(土・日を除く)の間で、ご協力を頂けます方のご都合の可能な日、不可能な日のご教示を頂きたく存じます。この期間、毎週2人程度の方々に、研究所での仕事に携わって頂くことになろうかと存じます。

別紙日程表に、可能な日(○印)、不可能な日(×印)を付して、ご返信賜りたく存じます。

これを拝見いたしまして、早々に打合わせ・説明会を設定させて頂きたいと存じます。

宜しくお願い申し上げます。

敬具

実施要領

1. 実施場所： 埼玉県茶業研究所

☆ 所在地： 〒358-0042 埼玉県入間市上谷ヶ貫 244-2

☆ 電話： 04-2936-1351

☆ 交通： ①西武池袋線 入間市駅下車 南口からバス(駅前 1番乗車口)

⇒ ・河辺駅北靴行き乗車 ⇒ 谷ヶ貫寺 下車 徒歩 20分

・中神行き蒸煮 ⇒ 中神下車 徒歩 25分

②JR 八高線 金子駅下車 徒歩 30分

○日当 8,000円+交通費(実費)を支弁致します。

☆ 時間： 不定ですが、概ね 10:00~17:00 くらい

2. 仕事内容： 茶の栽培・管理・製造・加工作業

埼玉県茶業研究所の専門研究員による指導により、実施いたします。

☆ 茶園圃場の管理「施肥、灌水、除草、管理一般」

☆ 緑茶製造、加工、試験

☆ 毎週 2名程度でペアになり、茶業研究所での作業になります。

可能であれば曜日を決めて、10月までの予定を組みたいと思います。

別紙日程表に、ご対応頂けます「日」と「曜日」に、出来るだけ多くの○印をつけて頂き、これを拝見させて頂いて、組み合わせと計画を作成します。

3. 申し込み・問い合わせ先： 茶新需要検討委員会 会長 大森正司

☆ 別紙日程表に必要事項を記入の上、

omori@t3.rim.or.jp までご連絡ください。